

# 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

会津若松市教育委員会学校教育課

## 1 調査に関する概要

- (1) 実施日 令和3年4月～令和3年7月
- (2) 調査学年 小学校（義務教育学校前期課程を含む。）5年生  
中学校（義務教育学校後期課程を含む。）2年生
- (3) 調査事項
  - ① 実技調査【8種目】
    - ・握力
    - ・上体起こし
    - ・長座体前屈
    - ・反復横とび
    - ・20mシャトルラン（中学校は、持久走か20mシャトルランのどちらかを選択）
    - ・50m走
    - ・立ち幅跳び
    - ・ボール投げ（小学校：ソフトボール、中学校：ハンドボール）
  - ② 児童生徒の体格
  - ③ 質問紙調査（運動習慣・生活習慣・食習慣等に関する質問）

## 2 体力・運動能力に関する調査結果

### 【概要】

- 体力合計点については、小学校男女、中学校男子において全国平均及び県平均を上回った。
- 「握力」「立ち幅跳び」については、小・中学校男女において全国平均同等もしくは上回っていることから、筋力、筋パワーに優れている傾向にある。
- 本市の課題である「長座体前屈」については、小学校男子が全国平均を上回った。小学校男女、中学校男子は、過去5年間で最高値となった。
- ▲ 全国的に体力の低下傾向が見られるが、本市においても小学校男子、中学校女子は、過去5年間で最低値であり、全国同様、体力の低下傾向が見られる。
- ▲ 例年本市の課題となっている「長座体前屈」「ソフトボール・ハンドボール投げ」については、改善傾向にあるが、県平均、全国平均を下回る学年が多く、柔軟性、投げる力に引き続き課題が見られる。

### ※体力合計点

異なった単位の測定値を、単位が共通な10点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8項目の実技テスト結果を合計した点数。

### 【体力合計点集計】

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
本市平均	53.06	57.68	41.60	47.40
全国平均	52.52	54.64	41.18	48.56
県平均	52.38	55.72	41.34	48.96
令和元年度 本市平均	55.16	57.61	40.81	51.37

### 3 児童生徒の体格

#### 【概要】

- 平成元年度との比較において、小学校女子、中学校男女において肥満傾向児出現率が減少している。
- ▲ 肥満傾向児出現率については、小学校男女、中学校男子において県平均を下回っているが、小中男女において、全国平均を上回っている。

※肥満傾向児出現率は、「高度肥満」「中等度肥満」「軽度肥満」を合わせた割合。

#### 【肥満傾向児出現率】

	小学5年男子	小学5年女子	中学2年男子	中学2年女子
本市平均	14.2%	9.3%	11.5%	10.2%
全国平均	13.1%	8.9%	10.0%	7.1%
県平均	16.9%	12.1%	12.5%	10.2%
令和元年度 本市平均	13.9%	11.6%	12.1%	11.2%

### 4 児童生徒質問紙調査の結果

#### 【概要】

- 運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答える児童生徒の割合は、小学校男女・中学校男子では、8～9割を占め全国値同等であるが、中学校女子は、7割であり全国値から15ポイント下回っている。
- 体育・保健体育の授業が「楽しい」「やや楽しい」と答える児童生徒の割合は、小学校男女・中学校男子では、約9割を占め全国値同等であるが、中学校女子は、約7.5割であり全国値から約10ポイント下回っている。
- 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てているかについては、小学校男女、中学校男子では、約7割であり全国値を上回っているが、中学校女子は、約6割であり全国値を0.5ポイント下回っている。
- 学校の体育・保健体育の授業以外で運動やスポーツをする総運動時間の1日平均については、全国的に減少傾向にあり、本市においても過去5年間において最低値であった。また、中学校では、男女ともに全国値と同等であるが、小学校は、男子が約20分、女子は約10分全国値より少ない。
- 新型コロナウイルス感染症の影響前と現在を比較して運動やスポーツへの取組について、小・中学校男女ともに約4割が運動やスポーツの時間が減ったと感じている。

### 5 考察

体力・運動能力については、小学校男女、中学校男子において、体力合計点で全国平均を上回ることができた。これは、各学校における体力向上の取組の成果であり、全国が体力の低下傾向にある中、体力が維持されていると考えられる。

また、課題であった「長座体前屈（柔軟性）」についても、本市の取組「柔軟+1（プラスワン）実践」を各学校において具現化し、体育・保健体育の時間に「柔軟性」を高める運動を計画的に実施したことにより改善が見られたことから、今後も継続していきたい。

今後、各校において肥満傾向児出現率の改善に向けた指導の充実とともに、運動の意欲高揚の取組と運動時間の確保、運動方法の工夫等を実態に応じて「体力向上推進計画」に具現化し実践していけるよう、さらに体力向上に向け取り組んでいきたい。